



きょうりゅう みみ  
**恐竜にも耳はあるの**

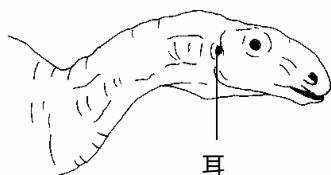
そと み みみ  
**外から見えない耳があった**

きょうりゅう にんげん そと と だ みみ  
恐竜は、人間やイヌ、ネコのように外に飛び出した、耳たぶのようなものはもっていません。しかし、あたま ほね しら にんげん みみ おな おと そと はい  
頭の骨をよく調べると、人間の耳と同じように、音が外から入ってくるすき間があり、こ膜があったと思われる骨のくぼみもあります。また、こ膜のふるえを脳のう つた  
ちい こつ ほね かせき み  
小さいあぶみ骨という、骨の化石も見つかっています。

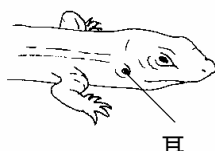
いま い ちゅうるい にんげん にゅうるい こえ だ  
今、生きているは虫類は、人間やイヌなどのようなほ乳類とちがって、声を出すしくみをもっていません。そのため、フーとか、シューといった息のもれるような音しか出せません。ところが、きょうりゅう なか ほね はな くどう  
恐竜の中には、骨のしくみから、鼻の空洞でクラリネットのような高い声を出せる、ハドロサウルスのような仲間もいたようです。声が出せる 恐竜 がいたので  
みみ き  
すから、耳は聞こえたはずです。

いま おな みみ  
**今いるワニやトカゲと同じような耳**

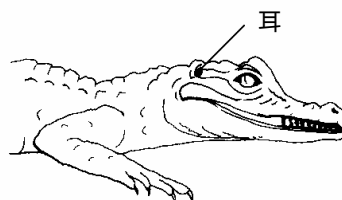
きょうりゅう みみ まく そと み おも いま  
恐竜の耳は、あなが膜でおおわれていて、外からは見えなかったと思われています。今、い  
おな ちゅうるい なかま みみ たぶがなく みみ あなが まく  
生きている、同じは虫類の仲間のワニやトカゲなども、耳たぶがなく、耳のあなが膜でお  
おわれています。ワニやトカゲの目のめ すこ うし ちゅうい まく  
ワニやトカゲの目の、少し後ろのほうを注意してみると、膜でふたをされた  
みみ きょうりゅう おな みみ かんが  
耳があるのが、わかります。恐竜も、これと同じような耳だった、と考えられています。  
(監修・今泉 忠明)



テノントサウルス



トカゲ



ワニ

